

2025年10月23日

各 位

会 社 名 宝ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 木村 睦
 (コード番号 2531 東証プライム市場)
 問 合 せ 先 広報・IR部長 宇佐美 昌和
 T E L (0 7 5) 2 4 1 - 5 1 2 4

2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年5月13日に公表した2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)の第2四半期(中間期)の連結業績予想を下記の通り修正しますので、お知らせいたします。

記

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2025年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株 当 たり 中 間 純 利 益
前回発表予想 (A) (2025年5月13日発表)	191,000	7,800	8,100	7,100	36 円 36 銭
今回修正予想 (B)	186,556	7,786	7,386	5,695	29 円 40 銭
増 減 額 (B-A)	▲4,444	▲14	▲714	▲1,405	-
増 減 率 (%)	▲2.3	▲0.2	▲8.8	▲19.8	-
ご参考:前期実績 (2025年3月期第2四半期)	176,539	10,532	11,166	9,088	46 円 55 銭

2. 修正の理由

当社グループの主要セグメントの売上高は、宝酒造、宝酒造インターナショナルグループ、タカラバイオグループいずれも前回予想を下回る見通しです。

営業利益については、宝酒造、宝酒造インターナショナルグループは前回予想を上回りますが、タカラバイオグループについては、売上高の減少の影響が大きく、前回予想を下回る見通しです。

特別損益では、投資有価証券の売却等により、特別利益が前回予想より約 23 億円増加しましたが、タカラバイオグループにおいて、設備の減損損失を約 39 億円計上したことで特別損失が増加しました。

また、タカラバイオグループにおいて、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を約4 億円取り崩すこととなり、当社グループの親会社株主に帰属する中間純利益については、前回予想を下回る見通しです。

なお、本日、当社の連結子会社であるタカラバイオ株式会社(コード番号 4974 東証プライム市場)も、第2四半期(中間期)の連結業績予想の修正発表をおこなっております。

3. 2026 年3月期 通期の連結業績予想について

通期の連結業績予想につきましては現在精査中であり、2025年11月11日に予定している第2四半期(中間期)決算発表時にお知らせする予定です。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、
2025年11月11日発表予定の第2四半期(中間期)決算発表数値とは異なる可能性があります。

以 上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。